

TTC標準
Standard

JF-IETF-RFC768

ユーザ データグラム プロトコル
(UDP)

[User Datagram Protocol]

第 1.0 版

2011 年 11 月 16 日制定

一般社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC768に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1.0版	2011年11月16日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC760, RFC761, RFC762

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準では、コンピュータネットワーク環境で、コンピュータ間でのパケットスイッチ形態でのデータグラム型通信を実現する、ユーザデータグラムプロトコル (UDP) を規定する。本プロトコルは、低次レイヤのプロトコルとして、インターネットプロトコル (IP) の利用を前提とする。

UDP は、アプリケーションプログラムが他のプログラムに対して、複雑さを最小限にした通信手順を提供する。UDP はトランザクション指向で、送達確認がなく、重複送信の防止も保証されない。順序逆転しない、信頼性のあるストリーム型通信を必要とするアプリケーションは、トランスミッションコントロールプロトコル (TCP) を使用すべきである。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC768 : 「User Datagram Protocol」